

公益社団法人インテリア産業協会 令和4年度事業報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

I 基本方針関連（概要）

年度当初に掲げた基本方針関連の事業の概要については次のとおりです。

1. 協会事業全般

資格試験実施方法を見直すとともに、協会の各種会議（理事会、委員会等）、本部・支部主催の各種事業（講座、セミナー、勉強会等）にウェブを積極的に活用することにより、天災や感染症等による事業開催リスクの低減策を図りました。

2. インテリアコーディネーター（以下、IC）・キッチンスペシャリスト（以下、KS） 資格者等の能力向上・育成関連

暮らし方や働き方の変化に伴うインテリアに対するニーズの変化に対応すべく、育成事業の柱である講座事業のカリキュラム見直しを推進しました。講座事業の開催回数は、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により残念ながら計画を下回ることとなりました。また、新たな情報発信として、インテリア基礎知識習得講座やインテリア基礎講座の動画を作成し、協会ウェブサイト上に公開しました。

3. インテリア普及活動関連

小学生を対象としたコンテストや中学校・高等学校の家庭科副教材の無償頒布など、若年層に向けたインテリア普及啓発活動を積極的に推進しました。

4. 情報・広報活動関連

協会ウェブサイトを通じて発信される自動応答メールの仕組みに改修を施し、自動配信メール到着の確実性を高めました。

広報活動としては、公式インスタグラムやフェイスブックを通じ、展示会、コンテスト募集、インテリアコーディネーター一次試験のCBT方式への変更など積極的に配信しました。

II 個別事業（内閣府に認定を受けている事業ア～キ）

ア. IC等を目指す者への教育、情報提供

1. IC・KSハンドブックの書籍頒布

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者、インテリアについて学ぼうとする者などに対しての書籍頒布は、「インテリアコーディネーターハンドブック統合版」11刷版（上巻2800冊、下巻2600冊）の印刷と「改訂二版キッチンスペシャリストハンドブック」4刷版（1000冊）の印刷を行い、頒布に供しました。また、改訂検討については、ICハンドブック（2013年）、KSハンドブック（2018年）のいずれも前回の改訂から年数が経過しているため、関係する事業委員会や学識経験者に対して意見聴取を行い、中期計画策定の具体化に向けての取り組みを進めました。

2. 資格取得の学習等を支援する通信教育事業

通信教育事業については、インテリアに関する知識を学ぼうとする者や I C・K S 資格試験の受験を目指す者等に対して、次のとおり講座を実施しました。

- ① I C 受験講座（総合／一次／実技）：のべ 288 人（前年度 327 人）が受講
- ② K S 受験講座（総合／学科／実技）：のべ 94 人（前年度 93 人）が受講

イ. I C 等の認定試験

1. I C 資格認定試験

第 40 回 I C 資格認定試験は、昨年度に引き続き、内閣官房の指導により策定された「民間検定試験等の実施における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守して感染症拡大防止対策を行い、全国 9 地域において一次試験は 18 会場、二次試験では 14 会場で実施しました。

実施日、試験地域は次のとおりです。

- ①一次試験実施日 2022 年 10 月 9 日（日）

試験地域：北海道、東北、関東甲信越、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄

- ②二次試験実施日 2022 年 12 月 4 日（日）

試験地域：北海道、東北、関東甲信越、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄
合格者数等の結果は次のとおりです。

■令和 4 年度（第 40 回）一次試験・二次試験別申込者・受験者・合格者の概要

【一次試験】		【二次試験】	
受験申込者数	10,035	二次受験対象者数 ^(注)	4,531 (内：一次免除者 1,719)
受験者数	8,669	受験者数	3,795
一次合格者数	2,969	二次合格者数	2,193
一次合格率	34.2%	二次合格率	57.8%

注：二次受験対象者数（4,531）は、基本タイプ一次合格者数（2,812）＋二次試験タイプ申込者数（1,719）

■合格者の推移

実施年度 [実施回]	資格取得対象受験者数 ^(注)	合格者数 (二次合格者数)	合格率
令和 4 年度 [第 40 回]	8,943	2,193	24.5%
令和 3 年度 [第 39 回]	9,935	2,334	23.5%
令和 2 年度 [第 38 回]	8,468	2,045	24.1%
令和元年度 [第 37 回]	7,561	1,896	25.1%
平成 30 年度 [第 36 回]	8,966	2,135	23.8%

注：一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

なお、一次試験は、複数日程による分散実施を可能にする C B T 方式として、令和 5 年度の実施に向けて準備しました。

2. K S 資格認定試験

第 35 回 K S 資格認定試験を、次のとおり全国 9 地域 13 会場で実施しました。

・試験実施日 2022 年 12 月 4 日（日）（I C 二次試験と同日）

試験地域：北海道、東北、関東甲信越、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄
合格者数等の結果は次のとおりです。

■合格者の推移

実施年度 [実施回]	申込者数			資格取得対象 受験者数 ^(注)	合格者数	合格率
	総合	学科/実技	総数			
令和 4 年度 [第 35 回]	485	225	710	566	189	33.4%
令和 3 年度 [第 34 回]	547	235	782	608	197	32.4%
令和 2 年度 [第 33 回]	554	250	804	614	175	28.5%
令和元年度 [第 32 回]	571	291	862	703	222	31.6%
平成 30 年度 [第 31 回]	632	346	978	786	288	36.6%

注：学科及び実技の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数（総合タイプの申込者のうち、実技および学科の両方を欠席した者を除く。）

ウ. I C 等の登録

1. 資格登録

令和 4 年度は、I C 資格認定試験合格者 2,193 名の内 2,190 名、K S 資格認定試験合格者 189 名の内 186 名の資格登録申請を受け付け、資格証（初回登録年月日 2023 年 4 月 1 日付）を交付しました。

2. 登録更新

令和 4 年度 I C・K S 資格登録更新は、対象者約 16,500 名に対し 2023 年 1 月 25 日を申請期日として申請受付を実施しました。期間内に手続きが完了した者には、有効期限を延長した資格証（カード）を 2023 年 3 月 16 日に簡易書留で一斉発送しました。

年度末における登録資格者（有効資格者）数は次のとおりです。

- ・ I C 資格登録者数： 60,053 名
- ・ K S 資格登録者数： 7,989 名

3. I C・K S 読本

『I C・K S 読本 2023』は、法改正内容を中心に内容の最新化を行うとともに、新型コロナウイルス感染症によるインテリアメーカー各社の抗ウイルス・抗菌製品動向について情報を更新し、新規登録者および更新対象者全員に提供しました。

エ. I C 等の能力向上のための講座等の開催

一般生活者並びに I C 及び K S の有資格者を対象に、インテリア等に関する基礎知識の習得、I C や K S の職業人としての能力向上を目指した研修事業として、全国各地で講座、セミナーを 71 件開催しました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け多くの対面での講座開催が中止となり、ウェブサイトを活用した講座は推進しましたが、計画していた実施回数を確保することはできませんでした。

- (1) ウェブサイトや動画を活用することにより、IC・KS有資格者や一般生活者が、インテリアの基礎知識の習得や能力向上のためのセミナーへ参加する機会を拡げると同時に、感染症による事業開催リスクの低減を図りました。
- (2) 高等学校の生徒を対象としたインテリア関係の講座「出前授業」を14件実施しました。
- (3) 地域の公共図書館との協力による一般生活者向けのインテリアセミナーを27件開催しました。
- (4) 一般生活者参加型インテリア小物作成講座「Let's インテリア」を19件開催しました。

オ. IC等が実施する調査・研究に対する支援

IC・KS等が行う調査・研究への支援として、昨年同様、キッチン、インテリアに関するテーマ公募を行い、次のとおり3件の調査・研究に対して活動資金を助成しました。

- ① 応募テーマ数 3件（キッチン関係：1件、インテリア関係：2件）
- ② 採択テーマ数 3件（キッチン関係：1件、インテリア関係：2件）
- ③ 採択テーマ名
 - ◇ 「住宅の内装仕上げのマテリアルコーディネートに関する研究」
 - ◇ 「全国工業高等学校インテリア科教育研究会（全イ研）加盟校におけるインテリア教育の実態調査」
 - ◇ 「長寿高齢社会におけるシニアの居場所とふさわしいカラースキームに関する研究」

カ. IC等を目指す者及びIC等の能力向上のためのコンテストの開催

一般生活者並びに資格者の能力向上を目的に、誰もが自由に応募可能な次のコンテストを継続実施しました。優秀作品については、昨年度に引き続き「作品集」および入賞作品を掲載した「年度型カレンダー」や「スケッチブック」を制作して広く頒布し、事業の普及に努めました。

1. 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト（第34回）

【一般部門】

令和4年度も経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、次のとおり実施しました。

- ① 募集期間 2022年9月9日～10月14日
- ② 募集内容
 - ◇ 事例分野 新築部門、リフォーム部門、スタイリング部門（居室や部分的なシーン）でインテリア事例（提案）を募集しました。
 - ◇ 課題分野 課題に基づいたコーディネート提案を募集しました。
 - A部門：「新しい生活様式とリビングのインテリア」
 - B部門：「IoTとインテリア」（B部門は施工事例も可）
- ③ 応募総数 181作品（新築部門12、リフォーム部門26、スタイリング部門16、A部門104、B部門23）
- ④ 審査結果 経済産業大臣賞1作品、製造産業局長賞1作品、協会会長賞2作品、部門賞5作品、優秀賞5作品、特別審査員3作品（合計17作品）

■ [事例分野] 入賞一覧

賞名	応募部門	タイトル	受賞者 (代表者)	都道府県
経済産業大臣賞	リフォーム	紡ぐ・心豊かにリゾートライフ	森 澄子	愛知県
協会会長賞	リフォーム	通り庭をもつ家・つなぐ土間空間	森本 雅史	三重県
部門最優秀賞	新 築	LAYER	石本 輝旭	愛知県
	リフォーム	NOISE	村松 孝哉	愛知県
	スタイリング	THE BORDERLESS	大河原 さおり	神奈川県
部門優秀賞	新 築	透かし格子のある家	中西 康崇	神奈川県
	リフォーム	洞窟如き栖	鶴 晃平	大阪府
	スタイリング	Botanical Life	高島 里実	千葉県
特別審査員賞	リフォーム	川の流れるように	金子 利恵	埼玉県

■ [課題分野] 入賞一覧

賞名	応募部門	タイトル	受賞者 (代表者)	都道府県
製造産業局長賞	A 部門	ひとやすみ 作家と猫のリビング	吉田 彩花	東京都
協会会長賞	A 部門	ぶふおれすと	小倉 龍	愛知県
部門最優秀賞	A 部門	流転	高橋 愛海	新潟県
	B 部門	ENERGY LAND	高崎 さゆり	兵庫県
部門優秀賞	A 部門	四季の箱	高部 安久里	兵庫県
	B 部門	縄文から学ぶサステイナブル	渡辺 治美	北海道
特別審査員賞	A 部門	ネコ遍路	王 秋婷	東京都
	B 部門	GOMI HOUSE	藪 朱梨	愛知県

【高校生部門】

- ①募集期間 2022年7月1日～7月27日
- ②募集内容 テーマを「わくわくするようなリビング」とし、課題に基づいたインテリア空間のコーディネート提案を募集しました。
- ③応募総数 258 作品
- ④審査結果 協会会長賞 1 作品、部門賞 1 作品、優秀賞 2 作品、奨励賞 5 作品 (合計 9 作品)

■ [高校生部門] 入賞一覧

賞名	タイトル	受賞者	高等学校	学年
協会会長賞	°Color～色と住まう空間～	望月 桃子	静岡県立科学技術高等学校	3年
高校生部門賞	天文台の星降る夜	富永 椋太	福岡県立福岡工業高等学校	2年
優秀賞	循環する和紙と空間	八幡 小凜	静岡県立浜松工業高等学校	3年
	秘密の隠れ家	村松 愛咲	静岡県立浜松工業高等学校	3年
奨励賞	Island	中嶋 かのん	名古屋市立工芸高等学校	3年
	子どものときの夢	小松 遥菜	名古屋市立工芸高等学校	3年
	植物との共存	杉山 健悟	静岡県立浜松工業高等学校	3年
	本と木との共存	安武 春輝	福岡県立福岡工業高等学校	2年
	緑と安閑な暮らし	山崎 心	神奈川県立相原高等学校	3年

2. 「知ろう、学ぼうインテリア」アイデア募集 2022

- ①募集期間 2022年12月1日～2023年1月31日
- ②募集内容 テーマ『ペットと過ごすインテリア』に沿った家具、空間デザイン、インテリアグッズなどのインテリアアイデアをイラスト、絵画、デザインにして、自由に描いて募集しました。
- ③応募総数 473 作品 (小学生 62、中学生 178、高校生 233)
- ④審査結果 最優秀企画賞 1 作品、優秀企画賞 3 作品、特別賞 3 作品 (合計 7 作品)

■ 「[知ろう、学ぼうインテリア] アイデア募集」入賞一覧

賞名	部門	タイトル	受賞者	学年
最優秀企画賞	中学生	あかりのありか	和田 真都佳	3年
優秀企画賞	小学生	軽石ハウス	須藤 駿	3年
	中学生	充電、します。	笠間 江里子	3年
	高校生	電灯の架け橋	井原 健心	2年
特別賞	小学生	鳥かごにソファー	則本 ゆりこ	2年
	小学生	ハムスターのクリスマスツリー	原田 莉帆	3年
	高校生	ペットと人が気持ちいいソファ	戸田 侑希	2年

3. キッチン空間アイデアコンテスト (第12回)

- ①募集期間 2022年8月22日～9月30日
- ②募集内容 コンセプト「こんな人に、こんなキッチン伝えたい」
Aテーマ部門「団らん・優しいキッチン空間」
Bテーマ部門「暮らしが変わるキッチン空間」(実際に施工したもの。新築物件も可)
各部門について、キッチン空間に関するアイデアを含めた作品を募集しました。
- ③応募総数 141作品 (Aテーマ部門117、Bテーマ部門24)
- ④審査結果 協会会長賞1作品、部門最優秀賞2作品、部門優秀賞6作品、奨励賞14作品
(合計23作品)

■ 「[キッチン空間アイデアコンテスト] 入賞一覧

受賞名	部門	タイトル	受賞者 (代表者)	都道府県
協会会長賞	Bテーマ部門	環境配慮型オフグリッドキッチン	小野 司	鹿児島県
部門最優秀賞	Aテーマ部門	ソダテテメグル	大崎 優花	京都府
	Bテーマ部門	食育 お手伝いキッチン	柴崎 あすか	埼玉県
部門優秀賞	Aテーマ部門	災害支援+遊具キッチン	杉浦 岳	東京都
		伊勢の街道を継ぐ台所	横井 悠介	愛知県
		学童キッチンクラブ	草間 大迪	大阪府
		ベランダキッチン	阪上 直子	大阪府
	Bテーマ部門	摘みたてハーブと都会のキッチン	穴原 隆充	大阪府
		母に戻ろう、父に帰ろう	大塚 謙太郎	大阪府
奨励賞	Aテーマ部門	料理×音楽×コミュニティ	吉田 綾花	茨城県
		atelier kitchen	嶋田 明莉	東京都
		「どこでも」キッチン	陳 芋	東京都
		シン・イロリ ダイニング	古川 まさ美	神奈川県
		回転するキッチン 円卓キッチン	水野 友愛	静岡県
		#グル巡り	松野 尾航生	愛知県
		Re +Train	日下 陽子	大阪府
		子ども食堂-常初花-	武内 瑠那	大阪府
		道の駅×シェアキッチン	山下 うらら	兵庫県
		ドラムキッチン	松尾 星華愛	福岡県
	Bテーマ部門	『みんなのキッチン』	荒木 了	東京都
		真ん中にキッチン	田中 亮平	東京都
		景色を味わうキッチン	池内 剛	長野県
		アウトドアダイニングキッチン	今井 利博	京都府

キ. 消費者に対するインテリアに関する普及啓発活動及び展示会の開催

1. 絵画コンテスト

我が国の将来を担う子どもやその家族に、生活の中にインテリアを取り入れる楽しさを知ってもらい、併せてICの職能を理解してもらおう機会を創出する、小学生を応募対象とした絵画コンテストを実施しました。令和4年度は、これまで開催してきた東北、九州、沖縄の3つの支部に加え、あらたに中部支部でも取り組みました。

※以下、各支部の応募総数と入賞一覧（上位賞のみ掲載）

①第20回こんな部屋いいな絵画コンテスト（東北支部／宮城県内）応募総数 1,607 点

受賞名	受賞者	学校名	学年
こんな部屋いいな絵画コンテスト大賞	越前 ありさ	大郷町立大郷小学校	6年
宮城県知事賞	鈴木 聡介	大河原町立金ヶ瀬小学校	2年
仙台市長賞	阿部 琉碧斗	仙台市立七北田小学校	4年
宮城県教育委員会教育長賞	天谷 景	富谷市立東向陽台小学校	4年
仙台市教育委員会教育長賞	渡部 華乃	仙台市立中野栄小学校	3年
インテリア産業協会会長賞	櫻井 衣玲奈	仙台市立北中山小学校	6年
20回特別賞	大泉 新	多賀城市立城南小学校	3年
インテリア産業協会東北支部支部長賞	伊佐 治篤斗	仙台市立大野田小学校	2年
インテリア産業協会東北支部支部長賞	荻島 宥花	仙台市立中山小学校	6年

②第1回こんな部屋いいな絵画コンテスト（中部支部／名古屋市内）応募総数 649 点

受賞名	受賞者	学校名	学年
グランプリ	熊崎 衣里子	名進研小学校	5年
中部経済産業局長賞	富田 希	椋山女学園大学付属小学校	6年
名古屋市長賞	安留 楓馬	名古屋市立神の倉小学校	3年
名古屋市教育委員会賞	早川 怜央菜	名古屋市立相原小学校	3年
インテリア産業協会会長賞	安留 蒼介	名古屋市立神の倉小学校	6年
インテリア産業協会中部支部支部長賞	西出 和佳奈	名古屋市立白沢小学校	6年
インテリア産業協会中部支部支部長賞	平林 悠	名古屋市立平針小学校	2年

③第10回こんな部屋いいな絵画コンテスト（九州支部／鹿児島市内）応募総数 3,358 点

受賞名	受賞者	学校名	学年
こんな部屋いいな賞	溝口 璃	鹿児島市立原良小学校	2年
インテリア産業協会九州支部支部長賞	小島 多生	鹿児島市立武小学校	3年

④あったらいいな、こんな家 第7回「こども絵画コンクール」（沖縄支部／沖縄県内） 応募総数 661 点

受賞名	受賞者	学校名	学年
最優秀賞	仲池 詩	沖縄市立美東小学校	1年
優秀賞	高良 紗英	豊見城市立伊良波小学校	1年
優秀賞	宮城 智也	与那原町立与那原東小学校	2年
優秀賞	嵩田 ふみ	西原町立西原南小学校	3年
優秀賞	吉濱 日彩	浦添市立前田小学校	5年
インテリア産業協会賞	屋嘉 比康虎	本部町立瀬底小学校	4年
タイムス住宅新聞社賞	山城 俊太	那覇市立石嶺小学校	3年

2. 展示会等の催し

一般生活者を対象にした、インテリアフェスティバル（展示会）を次のとおり実施しました。

①「JAPANTEX2022」

主催：(一社)日本インテリア協会、(一社)日本能率協会

会場：国際展示場 東3ホール

会期：2022年10月26日～10月28日

出展内容：NIFとの共同企画 WINDOWS PARADISE（ICと窓装飾プランナーの設え）を実施しました。

②「エコプロ2022」

主催：日本経済新聞社、(一社)サステナブル経営推進機構

会場：東京ビッグサイト 東4・5・6ホール

会期：2022年12月7日～12月9日

出展内容：住まいのインテリアコーディネートコンテスト高校生部門の「わくわくするようなリビング空間」の提案をパネル展示しました。また、優秀賞を受賞した作品をICの設えにより実物化して展示しました。

③「IFFT2023」

主催：(一社)日本家具産業振興会、日本経済新聞社

会場：東京ビッグサイト 東7・8ホール

会期：2023年2月28日～3月3日

1) 主催者企画展示

名称：JAPAN PREMIUM FURNITURE COLLECTION

主催：(一社)日本家具産業振興会、日本経済新聞社、(公社)インテリア産業協会

展示内容：日本の原風景とインテリアをテーマに住宅・非住宅の8つのシーンを設定し、ICが8ブースのカラースキームを行いその実力を内外にアピールしました。

2) インテリア産業協会単独ブース

出展内容：出展各社の新商品や令和4年度コンテスト入賞作品パネルを展示しました。

3. 学校への教材頒布

(1)中学生向けインテリア普及教材の作成頒布

中学生を対象とした中学校技術・家庭科副読本「快適な住空間をつくるインテリアの世界」を印刷し、全国の中学校のうち頒布を希望した864校に対して131,625部を無償頒布し、インテリアの普及を図りました。

(2)高校生向けインテリア普及教材の作成頒布

高校生を対象とした高等学校家庭科（住生活）資料「考えてみよう！住空間を彩るインテリア」を印刷し、全国の高校のうち頒布を希望した692校に対して132,157部を無償頒布し、インテリアの普及を図りました。

III 協会の組織運営

1. 協会本部に設置する委員会

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会事業の実施・運営方針等の検討や審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。具体的には次のとおりです。

(1) 運営委員会

本委員会では、次年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映するなど事業運営を推進しました。また、協会設立 40 周年関連の方針や実施内容について、幅広く検討しました。

開催実績：9/5、1/10、2/21（オンライン開催）

委員名	所属	委員名	所属
市川 祐次※	(公社)インテリア産業協会	小林 正樹	クリナップ(株)
伊藤 道代	東リ(株)	田中 順貴	三井ホーム(株)
加々美 文彰	(株)町田ひろ子アカデミー	玉留 勇輝	三井デザインテック(株)
加藤 直樹	(株)天童木工	藤居 久治	コイズミ照明(株)

(2) 情報・広報委員会

本委員会では、会員企業に向けた情報発信内容や各社での利活用について検討しました。また、協会ウェブサイトを通じて発信される自動応答メールの仕組みの改修について内容確認などを実施しました。

開催実績：10/3、3/20（オンライン開催）

委員名	所属	委員名	所属
青木 圭輔	(株)アルフレックスジャパン	神谷 悟	トーソー(株)
砂金 裕	(株)建築資料研究社（日建学院）	鈴木 ゆう子	東京ガスコミュニケーションズ(株)
加藤 勝幸	三井デザインテック(株)	藤居 久治※	コイズミ照明(株)

(3) 資格制度検討委員会

本委員会では、インテリアコーディネーター一次試験のCBT方式への変更資格制度や、資格者の能力の維持・向上のため配布する「IC・KS読本 2023」の内容を検討しました。

開催実績：7/27、3/27（オンライン開催）

委員名	所属	委員名	所属
上野 義雪	上野研究室	田中 順貴※	三井ホーム(株)
菅原 守	(株)スミノエ	富田 一哉	(株)サンゲツ
高橋 周司	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	西田 恭子	西田設計住生活研究所

(4) インテリア普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業、「住まいのコーディネーションコンテスト」の方針の立案や実施推進を行うほか、インテリア関係の調査研究助成のテーマ審査などを行いました。

開催実績：6/10、7/4、7/26、9/6、11/15、3/20（オンライン開催および書面審議）

委員名	所属	委員名	所属
石野 祐樹	カリモク家具(株)	佐藤 裕文	(株)ユーエー
樺島 博之	(株)東急Re・デザイン	玉留 勇輝※	三井デザインテック(株)
左合 正樹	トキワ産業(株)	中村 英彦	(株)ニチベイ

(5) K S 資格普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業、「キッチン空間アイデアコンテスト」の方針の立案や、KS資格試験の受験者増加に向けた改善策などについて検討しました。

開催実績：6/21、7/21、10/17、12/22、2/8（オンライン開催および書面審議）

委員名	所属	委員名	所属
小林 正樹※	クリナップ(株)	原田 茂	TOTO(株)
仙石 克幸	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	半田 陽香	(株)LIXIL
中島 宏文	タカラスタンダード(株)	村山 仁彦	(株)松岡製作所

(6) 講座事業委員会

本委員会では、支部で企画された講座、セミナー実施の可否判断や、協会として実施すべき講座カリキュラムに関しての検討を行いました。

開催実績：6/14、7/22、9/6、10/4、11/18、12/20、2/10、3/14（オンライン開催および書面審議）

委員名	所属	委員名	所属
飯田 公久	アトラスデザインスタジオ	濱田 淳	ADOPTキッチンワークス
加々美 文彰※	(株)町田ひろ子アカデミー	原 吉弘	住友林業(株)住宅事業本部
金堀 健一	(株)住宅デザイン研究所	—	—

(1)~(6)の表内※印は委員長

2. 会員活動

(1) 協会への入会促進活動

協会ウェブサイト等により定期的に広報を行うとともに、本部・支部の各種事業イベントを通じて、幅広く関連企業等に入会を働きかけました。年度末時点の会員数は次のとおりです。

◇年度末会員数：正会員数は135（前年度140）賛助会員は17（前年度17）

(2) 「会報」の定期的な発行

会報の年4回の定期的発行を行い、主に会員に協会の事業活動をタイムリーかつ的確に情報提供しました。

3. 広報活動

公式インスタグラムやフェイスブックを通じ、展示会、コンテスト募集、インテリアコーディネーター一次試験のCBT方式への変更などを積極的に配信しました。

新たな情報発信として、インテリア基礎知識習得講座やインテリア基礎講座の動画を作成し、協会ウェブサイト上に公開しました。

4. その他

インテリアコーディネーター一次試験について、令和5年度からこれまでのPBT方式からCBT方式に変更することを決定しました。協会が定めた試験日のみの一斉受験ではなく、約一か月の指定期間内に受験者が日時を選択して受験することとなるため、受験者の自由度が向上し、今後の受験者増に寄与するものと期待されます。また、協会内経理に新規の会計システムを導入し、ガバナンスの強化に努めました。

以上